

第40回無担保社債

1. グリーンボンドの概要

名称	大成建設株式会社第40回無担保社債（社債間限定同順位特約付） （グリーンボンド）（別称：大成建設グリーンボンド）
条件決定日	2021年12月3日
発行日	2021年12月9日
発行総額	100億円
発行年限	5年
発行利率	0.100%
資金使途	① 保有施設の省エネ化リニューアル（大成建設株式会社関西支店ビル及び 横浜支店ビル、大成ユーレック株式会社川越工場） ＜建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）のZEB認証※1を取得予定＞ ② 再生可能エネルギー事業への投資（太陽光発電施設、風力発電施設） ③ 脱炭素関連の技術開発投資（洋上風力発電関連、カーボンリサイクル・コン クリート関連、ZEB※2・省エネルギー関連、水素利活用関連）
主幹事	野村證券株式会社、みずほ証券株式会社
Green Bond Structuring Agent※3	みずほ証券株式会社
取得格付	A+（株式会社格付投資情報センター） AA-（株式会社日本格付研究所）

※1 建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）のZEB認証

国土交通省が主導する新築・既存建築物の省エネルギー性能に関する評価・表示を第三者評価機関が実施する認証制度。国が定める計算方法に則りBEI（省エネルギー性能指標）値を算出し、その値によって☆の数が決定する。最高ランクの☆☆☆☆☆の中でも更に省エネルギー性能に優れた建物がZEB（『ZEB』、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented）として認証される。

※2 ZEB（Net Zero Energy Building）：ネット・ゼロ・エネルギー・ビル

「建築物における一次エネルギー消費量を、建築物・設備の省エネ性能の向上、エネルギーの面的利用、オンサイトでの再生可能エネルギーの活用等により削減し、年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロ又は概ねゼロとなる建築物」と定義されている。すなわち、建物で消費するエネルギーを極限まで少なくし、更にエネルギーを創る設備を持つことで、年間エネルギー収支がゼロとなる建物のこと。

※3 Green Bond Structuring Agent

グリーンボンドのフレームワークの策定及びセカンドオピニオン取得の助言などを通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者のこと。

2. 適格性に関する第三者評価

本グリーンボンドの適格性については、第三者評価として、株式会社日本格付研究所（JCR）の「JCRグリーンボンド評価」において、グリーンボンド原則2021及びグリーンボンドガイドライン2020年版に適合する旨のセカンドパーティオピニオンを取得し、最上位評価である「Green1」の評価を取得しています。

詳しくは[こちら](#)をご参照ください。

3. 本グリーンボンドに関する投資表明

本グリーンボンドへの投資表明をしていただいた投資家をご紹介します。

（2021年12月3日現在、五十音順）

- ・株式会社オーテック
- ・株式会社 鹿児島銀行
- ・信金中央金庫
- ・住友生命保険相互会社
- ・大東京信用組合
- ・株式会社 東邦銀行
- ・日本地震再保険株式会社
- ・日本電技株式会社
- ・株式会社 八十二銀行
- ・株式会社 東日本銀行
- ・三菱UFJ信託銀行株式会社
- ・株式会社 宮崎太陽銀行